



# 攻撃されてもロシア領への反撃を控えていた！

12月2日、自民公明は武力行使を自国領域内に限る「専守防衛」を大転換。歴代政権が「違憲」としてきた「反撃能力」「敵基地攻撃能力の保有」を合意。二〇一四年安倍政権は集団的自衛権の行使を違憲から合憲に転換。米軍がどこかで攻撃されると集団的自衛権で自衛隊が「敵」基地を攻撃することになった。

ウクライナは自重  
ロシアは国内からミサイルでウクライナの発電所、病院等、社会インフラを破壊。ウクライナは、国境近くであればロシアの同様の施設を短距離ミサイル等で攻撃する能力はあるが、自重していた。それによりウクライナ戦争がロシアの一方のかつ不当な攻撃であることを際立たせた。

散々破壊されたウクライナは遂にドローンでモスクワに近いロシア軍基地を攻撃したらしい。もし「ロシアが攻撃する徴候がある」と云うだけでロシアを攻撃していたら、プーチンは「ロシアが攻撃された」と大宣伝。国際的なウクライナ支援の波は起きなかったのでは？ 自公政権はこうした現実をどう考えているのだろうか？

朝日川柳に「もう自称やめましようよね平和の党(尾根沢利男氏)、選者のコメント「ブレキたり得ぬ公明党」が載った。「敵基地攻撃能力」を保有するより、外交により、戦争にならないようにする事が大切だと思いませんか？ あなたはどう思われますか？

## 桃林寺の七五三

沖縄県石垣市新川

二〇二二年十一月



スケッチをした十一月十五日は七五三。次々と親子連れが訪れていった。

本土への仏教伝来は六世紀。しかし、琉球への仏教伝来は十三世紀。石垣島へは更に三〜四百年後。そして、この桃林寺は八重山(石垣島、宮古島等)で最古の寺。一六〇九年に侵攻した薩摩藩の進言で琉球の尚寧王によって一六一四年に建てられた。

しかし、一七七一年、明和の天津波で破壊され、翌年再建。津波で山門の仁王像も流されたが島の北部で見つかったそうだ。

山門の両脇の石垣を見ると、石を加工してがっちり組み合わせてある。もう津波には負けないぞと云う気迫が伝わってくる。

初めは真言宗だったが、現在は臨済宗だ。

